

クラレ 植物由来容器を販売

食品用 豪社と総代理店契約

化学メーカーのクラレ（本社東京、本店倉敷市酒津）は、オーストラリアのプランティック社が製造する植物由来の食品容器の販売を始めた。

日本と韓国市場での総代理店契約をプランティック社と結んだ。

容器はコーンスターチが主成分で、一般的なプラスチック容器に比べ、酸素遮断力が高いのが特長。窒素ガスを注入しフィルムなどで密封包装すると、生鮮品で1週間程度は品質が保てるという。

品質保持期間が延びることで、小売業者などで食品が廃棄されるケースが減ると期待でき、容器メーカーに売

り込む。

クラレは、食品容器品用もラインアップに加えることで営業強化を図る。（田中泰）

工食品用が中心。生鮮